



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成31年1月7日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナソウメイガクレンゴウジシユボウサイカイ

団体名 操明学区連合自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり Ⓔ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	操明学区防災フロント(最前線)事業
事業実施小学校区・地区	岡山市 操明小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 5 回目 5/5 【 27 年度から】
課題	1) 学区単位防災会で持続可能な防災・減災の協働組織完成。 2) 単位防災会での要配慮者避難連絡網、見守り体制の完成。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の完成。 4) 各種団体と企業との提携・連絡網の完成。 5) 単位自主防災会の新役員研修会充実。
事業の目的	1)小地域最前線の町内会の班単位から、防災協働員を発掘し育て、実働・実践組織に組み込み、地域防災の最前線活動者に仕上げる。 2)子・孫まで持続可能な14自主防災会の地域防災組織・枠組みを定着させる。 平常時各団体協働での、要配慮者の見守り活動を定着させる。

事業の内容	1) 協働団体＝持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成。 2) 避難活動要配慮者＝避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所＝円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携＝提携ルール・連絡網の作成・周知。 5) 人材育成＝各班(仕事別)防災新役員研修会の為に講師陣の育成。
期待される成果・目標	1) 住民の防災意識の醸成と活動参加意欲の向上。 2) 学区内での臨場的、具体的自主防災活動の充実と実践の定着 3) 防災協働員の充実と実践力の定着 4) 要配慮者の平常時見守り、非常時の救護活動の充実。 5) 地域の各種団体とのコミュニケーションの連携と行動力向上。 6) 単位防災会による独自の防災活動の定着。
企画などの工夫	1) 全住民をいかに巻き込んでいくのか、(若い人達の意識調査) 新1年生、新幼稚園児保護者に防災アンケート調査 2) 学校・地域にある行政機関、企業等と連携。(避難場所の事を知る) 協働を円滑に進める努力を各協働団体長がトップリーダーをはたす。 3) 作りだした人材、組織、マニュアル類、施設物品資材等。(周知と実践能力) 総合的に運用して検証し、研修会・訓練を通して定着・習慣化としたい。
協働する団体等	民児協＝避難所に於ける要配慮者受入・見守り体制 福祉協＝災害時に於ける避難所の受入・ボランティア受入体制・避難所運営 交通防犯協＝災害時における避難所・地域パトロール 環境衛生協＝災害時に於ける避難所衛生管理 親子クラブ＝災害時に於ける要配慮者(幼児)避難所運営 他消防団OB・看護師経験者・中高生の避難所に於けるボランティア。
事業の情報公開	1) 連合町内会誌「操明ネットワーク」への掲載(年4回全戸配布) 2) 連合町内会役員総会への報告(年3回) 3) 連合町内会「操明ホームページ」へ掲載(活動記録) 4) その他照会に対応して情報公開をしている。

学区 地区 への 広 が り	1) 操山から南部の地域との協働及び緊急時連絡網の提携。 2) 山陽学園大学との交流会開催 3) 他学区地域への防災会立上げ等交流会の開催。 4) 学区内全ての団体が防災を真剣に考え始めた。
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	1) 協働団体との 避難所に於ける 2 回目の総合役割分担訓練。 2) 研修会の充実 情報班・避難誘導班・救出救護・消火班四会場で新役員研修会を開催。 3) 指定避難所（操明小学校）及び協定避難所 要配慮者と健常者の避難場所の設定避難行動訓練。 4) 要配慮者避難 14 単位防災会で民児協・社協、協働での支援個別計画作成。
次 年 度 以 降 の 予 定	① 次年度以後の活動計画 小中学生、企業等との防災連携強化 操山南部地域との防災交流充実 学区内の新役員交代期の円滑運営 自己資金による防災最前組織の運営 各団体協働での災害弱者対策 災害時、避難所運営のルール策定 ②資金の確保について 連合町内会からの活動資金と単位自主防災会からの活動資金 協力企業・団体からの協力金
そ の 他 P R し た い 点	①連合組織の情報班・避難誘導班・救出救護班・消火班・給水給食班、各班別研修会、各班研修マニュアルによる研修・訓練を開催。 ②わが地域で起こり得る最悪の状態を想定して、避難網(無線)と音(ハンドサイレン)で住民への 5 分以内連絡網の訓練をしている。 ② 要配慮者に対する個別避難支援計画を、14 防災会ごとに作成し、避難訓練を始めている。 ④防災会、町内会長、民児協、社協と協働で災害時要援護者避難支援計画書を作成。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	7日 学区桜祭り。 連合自主防災会30年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、会議。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。 新役員研修会 、新役員変更届作成提出。 小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会
6月	学区連合自主防災会会議。 新役員研修反省会
7月	防災無線機使用訓練。 11/3防災訓練企画会議。
8月	アンケート分析 研修会反省会
9月	防災訓練企画会議。 連合役員会議。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。 操明学区福祉活動計画推進委員会
12月	学区クリーン作戦。 31年度事業反省会。 次年度事業計画案会議
1月	防災倉庫備品棚卸。 要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。
2月	学区連合自主防災会議、次年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 防災会総会資料の作成。
3月	学区連合自主防災会、区づくり事業監査。 操明学区福祉活動計画推進委員会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	120,000	198,500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	162,537	198,500	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	282,537	397,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
会場費	6,200	10,000	会場使用料
印刷製本費	70,695	50,000	回覧・会議・研修資料等 アンケート・マニュアル作成
通信運搬費	13,944	15,000	電波使用料・切手代
手数料(リース料)	141,264	142,000	トランシーバー維持費
消耗品費	16,620	150,000	無線機リチウム電池
食料費	33,814	30,000	お茶代
計	282,537	397,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。